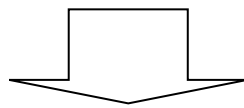


	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の学習では、一人一人の進度に応じて、漢字ドリルやプリントに取り組み、読み書きの定着を図ること。</li> <li>学習した漢字を忘れがちであるので、意欲をもたせながら定着を図ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>单元ごとに漢字の読み書きの小テストを行い、達成度を確認していく。</li> <li>漢字ドリルに取り組み、終えたページには金シールを貼る。</li> <li>家庭学習として課題を出す。</li> <li>音読カードを用意し、教科書の音読に取り組むことで、読める漢字を増やしていく。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が自ら課題意識をもって、意欲的に学習を進めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童同士で意見交換ができるよう、グループ編成に配慮する。</li> <li>写真や図、表を活用しながら情報を読み取り、問いかけながら、自分の考えがもてるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>かけ算とわり算の違いをおさえ、計算の手順を定着させること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かけ算とわり算の意味を確認するために、マスに色をぬって答えを表せるようにする。</li> <li>計算ドリルに繰り返し取り組ませ、具体物やプリントを活用しながら数量を実感できるようにする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順に沿って実験や観察を行い、結果や考えを記入すること。</li> <li>生活の中から自然現象の不思議さに気付かせ、それらを比べたりまとめたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前学習で実験器具の扱い方や手順を学習し、見通しをもって実験に参加できるようにする。</li> <li>実験の結果からわかったことなどをノートにまとめさせる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボール運動などゲーム領域の運動では、ルールを理解したり、仲間と協力したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B教室などで補充の時間をもつようにする。</li> <li>交流学級の担任や支援員と児童の困難さや課題を共有し、指導について共通理解を図る。</li> <li>スモールステップで進め、できたときには大いにほめ、達成感が感じられるようにする。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の気持ちに自分の気持ちを投影させながら自分自身を振り返り、価値に気付かせていくこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画を見直し、日常生活における場면을題材に取り入れる。</li> <li>他者の立場に立てるような発問やワークシートの工夫をする。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して興味・関心ももち、正しい情報をもとに自らの気づきや考えを表現すること。</li> <li>課題に沿って興味・関心を調べ学習に生かし、まとめること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の意見や学習の仕方を知ること、それらを自らの学習に生かせるようにする。</li> <li>見学などの体験を通して、興味・関心をもてるようにする。</li> <li>パソコンや資料を活用して、調べる時間を確保する。</li> </ul>
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に関する身近な事柄について語句を覚え、自分や身近な人たちについて簡単に説明すること。</li> <li>学習した用語やジェスチャーを用いて、他者とコミュニケーションをとること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現することで、身近な単語や言い回しを覚えられるようにする。</li> <li>イラストや写真を活用する。</li> <li>会話の場面を設定することで、他者とコミュニケーションがとれるようにする。</li> </ul>

音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱の学習では、しっかりと歌詞を覚えて大きな声で歌うこと。</li> <li>・リコーダーの学習では、正しい指使いで確実に穴を塞ぐこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞を拡大したりルビを振ったりすることで、読みやすくする。</li> <li>・歌詞の音読の学習を取り入れていく。</li> <li>・穴に魚の目シールをはり、塞ぎやすくする。また、リコーダーの図を楽譜として作成する。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに沿った作品の作り方や描き方のイメージをもつこと。</li> <li>・道具を安全に正しく使用すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別にめあてを立て、声かけしながら一緒に、めあてに沿ったイメージをふくらませていく。</li> <li>・糸のこなどの道具を使うときは、使い方や手順、きまりなどを絵や文にして、視覚的に支援していく。</li> </ul>



成果○ と 課題▼	
国語	<p>○漢字ドリルやプリント等による反復練習を取り入れることで、読み書きできる字を増やすことができた。毎時間の小テストで定着度を図ることができた。</p> <p>▼覚えた漢字を日常的に使っていけるように反復練習を繰り返していく。</p>
社会	<p>○興味をもったテーマについて、図書室やパソコンルームを利用して調べ学習を行った。社会科見学の当日は、熱心に見学しながら体験学習に参加することができた。</p> <p>○交流及び共同学習に参加する場合、学級担任や支援員と密に連携を図ることができた。</p> <p>▼テーマをより身近に感じられるために、学習した内容や見学した事を、自分の生活と関連させて考えたり課題を見つけたりさせていく。</p>
算数	<p>○交流及び共同学習に参加する場合、学級担任や算数少数担当と密に連携を図ることができた。</p> <p>○講師と連携を図り、個に応じた学習形態やワークシートの工夫により、学習理解が定着した。</p> <p>○繰り返し学習することで、小数や分数の四則計算に取り組むことができた。</p> <p>▼小数や分数の計算の仕方は覚えられたが、計算のときの小数点の動かし方について混乱することがある。解き方や考え方を説明したりノートにまとめたりする活動を取り入れるようにする。</p>
理科	<p>○夏にはヒマワリやツルレイシの植物を育て、観察カードに記録することで、植物の成長の様子に興味・関心をもつことができた。</p> <p>▼児童の興味・関心や知識量の差を意識して学習の流れや課題の与え方を工夫していく。</p>
体育	<p>○運動会では、個別に支援をしながら、表現運動や団体競技、徒競走のすべての競技に参加することができた。</p> <p>▼ボール運動などの集団での競技については、ルールを理解や集団の動きに合わせる事が難しいことがあったため、見通しをもたせることが課題である。</p> <p>▼勝敗へのこだわりについては、継続して声かけを行っていく。</p>

道徳	<p>○より身近に場面毎の問題が捉えられるように、普段の生活において課題となっているものから題材を選び、授業づくりを行うことができた。</p> <p>▼児童の興味・関心を高め、意欲的に学習できるように、ICTを活用する等して工夫していく。</p>
総合	<p>○一つ一つの学習や行事に対して、その都度情報を共有して家庭と連携を図り、課題解決するように努めた。</p> <p>▼テーマに対して自ら興味関心をもったり、考えをもったりするために、より計画的に学習を進めていく。</p>
外国語活動	<p>○ALTの先生とのやり取りや歌、チャンツを通して外国語に慣れ親しむことができた。</p> <p>○楽しくゲームや身体を使った表現活動に参加し、多くのアルファベットを覚えることができた。</p> <p>▼どの児童も意欲的に取り組んでいけるように、学習材や活動を工夫していく。</p>
音楽	<p>○リコーダーや鍵盤ハーモニカに粘り強く取り組むことができた。音楽会では、中休みや朝の時間を利用して、熱心に練習を重ねることができた。</p> <p>○音楽専科と連携し、支援級学級児童用に楽譜を直し、それを活用することで、自信をもって演奏することができた。</p> <p>▼使用する楽器が限られがちであるため、さまざまな楽器に慣れ親しめるよう、適宜声かけを行い、経験を積ませていく。</p>
図工	<p>○図工専科と連携し、自己の作品へのイメージを膨らませながら、作品を作ることができた。</p> <p>○友達とも作品を見せ合い、よさを認め合うことができた。</p> <p>▼のりを貼ったりはさみで切ったりするなど基本的な動作の習得を目指し、安全に配慮しながら、個別の学習により継続的に取り組んでいく。</p>